

光が丘公民館・新築児童館整備 市民検討会ニュース

第2号 令和8年4月
相模原市教育委員会生涯学習課
電話 042-769-8286
FAX 042-754-7990

相模原市では、令和7年3月に閉校した青葉小学校の敷地に、公民館機能、児童館機能を有する新たな複合施設の整備に向けた検討を進めており、令和8年2月26日に第2回市民検討会、3月27日に第3回市民検討会を開催しました。整備のアイデアや新築棟の整備の方向性等について話し合いを行いました。

新築棟の使い方等に係る子どもの意見について報告しました

光が丘地区複合施設の新設棟について、次世代を担う子どもたちに自由な発想でやってみたいことなどを考えてもらうため、2月に光が丘小学校3年生から意見聴取した内容を報告しました。

■広場（グラウンド）について

- ・スポーツではサッカー、バスケが人気。
- ・種目によってエリアを分けるのも選択肢の一つ。
- ・遊具ではブランコ、ジャングルジム、すべり台が人気。
- ・未就学児、小学生それぞれのサイズが欲しいという意見があった。
- ・他にはふわふわドームやお祭りなど。

■遊戯室について

- ・室内用の遊具ではボールプール、すべり台、トランポリンが人気。
- ・年齢によって遊ぶエリアを分けたり、それぞれに合った遊具を入れたいという意見があった。
- ・ボルダリング、ゲームができるスペース、休めるスペースなど。
- ・他にはおままごと、サッカー盤、射的など多種多様な意見が出た。

■防音遊戯室について

- ・カラオケ（採点付きという意見も）を入れたいという意見が多い。
- ・他にはダンス、楽器演奏など。

■その他

- ・子ども食堂、自動販売機、本を読めるスペースなど。

再整備後の新築棟整備のアイデアについて

3つのパートごとにグループワークでアイデアを出して、発表していただきました。



検討会の資料等は、相模原市ホームページ、行政資料コーナー、光が丘公民館で閲覧することができます。

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/chuoku/1024162.html>

光が丘地区の公共施設再編

検索



グループワークでの主な意見

1 公民館グループ

- ・ 事務室は狭くないか。
- ・ フリースペースは、軽食が食べられるといいな。
- ・ 利用する部屋は全て2階のため、高齢者が多数である地域を踏まえ、大きなエレベーターを希望する。
- ・ 各諸室の出入口は、現在の公民館は部屋の扉が外側に開く仕様となっており、外を歩いている人にぶつけてしまう可能性があるため、スライド式等を考慮いただきたい。

2 児童館グループ

- ・ 遊戯室は広く動き回れるよう使いたい。バスケットゴールや卓球台も2台。ボルダリングも欲しい。
- ・ 乳幼児室はままごとができたりするおもちゃがほしい。
- ・ 防音遊戯室は打楽器、カラオケもあるとよい。予約制で、時間で区切るなどもよい。小学生、中学生、高校生等が利用しやすく。
- ・ フリースペースは、基本的には学習できるように、机や椅子を設置し、だれでも利用できるようにしてほしい。静かに子どもたちができるような場所であってほしい。
- ・ トイレはかわいくしてほしい。おむつの替える台等を設置してほしい。
- ・ 事務室は公民館事務室とつながっている方がよい。

3 共用部グループ

- ・ フリースペースは、高校生たちが望んでいるのはカフェやファーストフード店であり、これらの強みは電源のとれる環境、飲食のできる環境。フリースペースについては今の中高生の意見を聞いてほしい。
- ・ 机については自由に移動ができるとよい。
- ・ 図書室の部屋については四角にこだわらず、丸みをおびたレイアウトにしてもらいたい。
- ・ 入口の施設利用案内をモニター表示にしてほしい。

新築棟の整備の方向性について

基本計画のモデルプランを具体化するため、整備の方向性を次のとおりとしました。

■公民館と児童館の一体感がある施設とします。

児童館機能における児童の安全性に配慮しつつ、ロビー・フリースペースの拡充等により、世代間交流がはかれるような整備を行います。

■ロビーやフリースペースを開放的な空間として整備を行います。

賑わいがある公共施設の整備事例を参考に、施設の中心的位置づけとなる新築棟ロビー・フリースペースを開放的な空間とし、子ども・若者から高齢者までが居心地よい空間となるような整備を行います。ロビーやフリースペースには机やイスを配置し、予約なしでの打ち合わせや学習、子ども食堂等での利用に配慮した設えとします。

■公民館貸室の見える化をします。

公民館利用サークル等の活用の様子を見学できるようにするため、貸室については、共用部に面する部分に窓を設けることで、室内の活動の様子に見える設えとします。